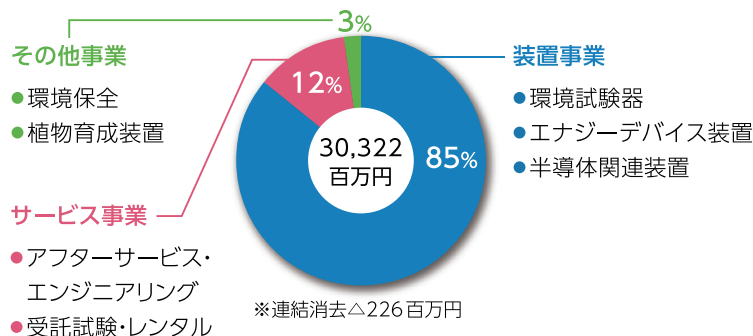
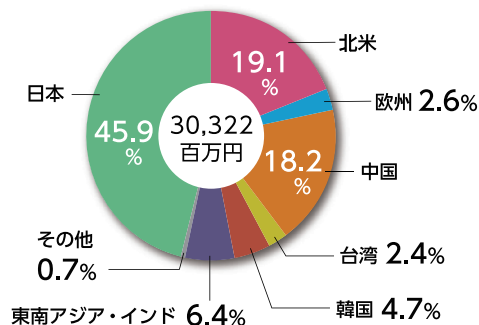


事業セグメント別概況

事業セグメント別売上高構成比



地域別売上高構成比



装置事業

環境試験器については、国内市場では、汎用性の高い標準製品は前年同期比で受注高・売上高ともに増加しました。カスタム製品においては、EV・バッテリー関連を中心に好調であった前年同期と比較して受注高は減少しましたが、売上高はAI半導体関連が堅調に推移し増加しました。海外市場では、前年同期比で受注高は北米、東南アジアが大幅に増加しましたが、長納期案件が多く売上高は減少しました。エネルギーデバイス装置については、EVバッテリー向け投資が一巡したことにより前年同期比で受注高・売上高ともに大幅に減少しました。半導体関連装置については、受注高は前年同期比で減少しましたが、売上高はAIサーバー用電子部品向け一括案件の売上計上により大幅に増加しました。

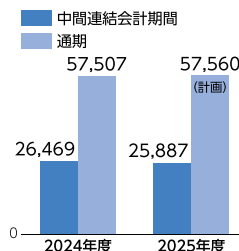
装置事業全体では、前年同期比で売上高は2.2%減少し、売上高の減少および原価率の悪化により営業利益は前年同期比で15.3%減少しました。



2025年度グッドデザイン賞を受賞
恒温(恒湿)器 プラチナスJシリーズ ECOタイプ

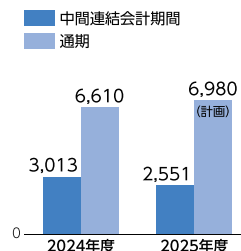
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



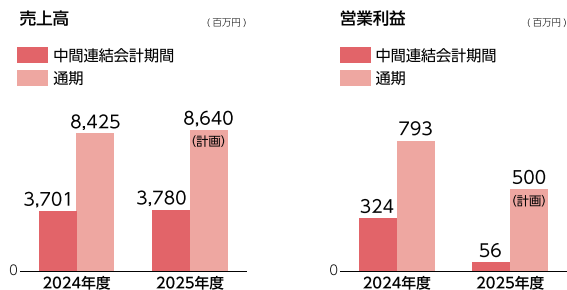
サービス事業

アフターサービス・エンジニアリングは、予防保全・修理サービスともに堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加しました。受託試験・レンタルは、EV需要減速に伴う投資抑制や開発計画変更の影響を受け受注高が減少し、売上高は前年同期並みとなりました。

サービス事業全体では、前年同期比で売上高は2.1%増加、営業利益は主に受託試験の減価償却費の増加や人員増により原価率が悪化し、82.4%減少となりました。



大学生の気球打ち上げプロジェクトを支援
受託試験所で搭載機器の性能試験を実施



その他事業

環境保全事業および植物育成装置事業を中心とするその他事業では、植物工場の大型案件を獲得するとともに、植物研究用装置や森づくりも堅調に推移しました。こうした結果、前年同期比で売上高は68.7%増加しました。しかしながら、利益面については前年同期比で改善したものの2百万円の営業損失となりました。



第27回「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」に
アクアポニックスやタヌノオトシゴの陸上養殖などを展示

